

サイコロン B の使用法

正しく使うために 使用前に必ず お読みください

【混合液のつくり方】








- (1) 冷蔵庫から取りだしたシアノアクリレート  を、室温にもどるまで **30分以上放置**しておきます。
- (2) 室温で保存している銀粉  をほぐすため、まず、ステンレス製スパチュラ  を用いて、容器中の銀粉を攪拌します。
- (3) 計量用プラスチックスプーン  で、銀粉容器の壁に押さえつけず、かるく銀粉をとります。
- (4) スパチュラ  の柄の部分で、スプーン  の山盛り状の銀粉をすり落とします。
銀粉の重量はスプーン一杯で約 0.8 g です。
- (5) 銀粉を混合容器  にとります。
- (6) 室温にもどったシアノアクリレートを、表 1 に示した必要滴数だけ混合用容器にいれます。
例えばサイコロン B-250-3 では、銀粉がスプーン一杯に対しシアノアクリレートを 12 滴いれます。
表 1 の滴数は目標値ですから、もしシアノアクリレートが不足しているようなら適当量追加し表 2 に示した粘度に近づけてください。
できれば、銀粉もシアノアクリレートも重量を計り、より正確な混合比で混ぜることをおすすめします。
- (7) 銀粉とシアノアクリレートをスパチュラで **5分以上攪拌**し、つぶ状の銀粉もくぐらして完全な混合液（ペースト）をつくりまます。混合が十分であるほど導電性はよくなります。

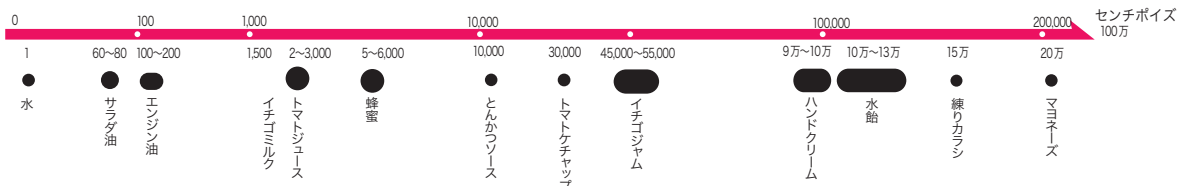
表 1 銀粉とシアノアクリレートの混合比

サイコロン B	重量 混合比	銀粉スプーン一杯に必要なシアノアクリレート滴数(目標)
	銀粉：シアノアクリレート	
サイコロン B-230-3	60 : 40	19 滴
サイコロン B-240-3	65 : 35	15
サイコロン B-250-3	70 : 30	12
サイコロン B-260-3	75 : 25	9

表 2 混合液の粘度










サイコロン B	粘 度 (センチポイズ)
サイコロン B-230-3	4,000
サイコロン B-240-3	10,000
サイコロン B-250-3	20,000
サイコロン B-260-3	70,000

いろいろな材料の粘度 (参考)

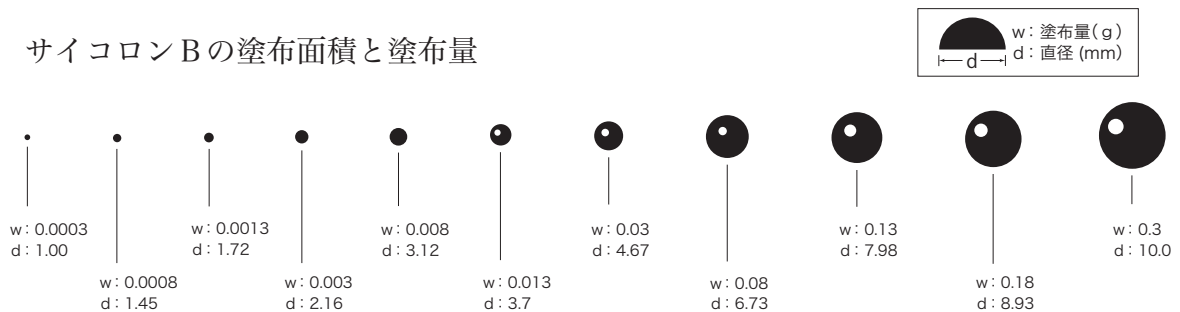


- (8) 混合液は静置しておきますと比重差により、銀粉が沈下し不均一な混合状態になりますから、混合液は常によく攪拌して採取してください。

【接着硬化方法】

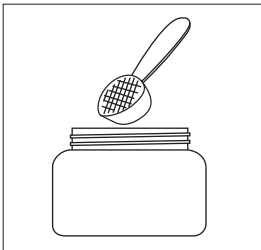
- (1) 完全に混合した混合液から、スパチュラで必要量とり、被着材の接着面  に着けます。
- (2) 平面  と平面  の接着の場合は、もう一方の被着材の接着面を正しく合わせ 、指などの圧力で接着剤を全面に均一にゆきわたらせて固定し、そのまま硬化させます。
- (3) 平面  と線  (例えばリード線取り出しなど) の接着の場合は、線状の被着材に接着剤を正しく着け 、露出している接着剤の上からサイクロンB-AC (硬化促進剤)  を一滴たらして硬化させます。
- (4) サイクロンBは、ディスペンサー  を用いると微量の定量吐出することができます。サイクロンB-ACも同様にディスペンサーを用いて塗布することができます。

サイクロンBの塗布面積と塗布量

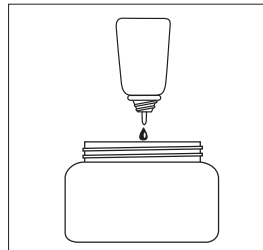


【作業手順】

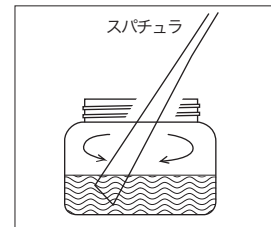
①銀粉採取



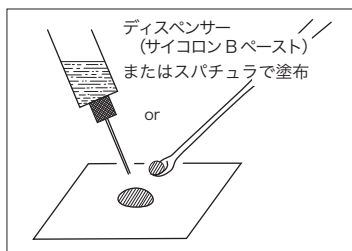
②シアノアクリレート採取



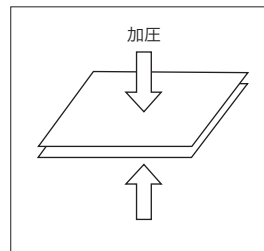
③攪拌 (サイクロンB ペースト)



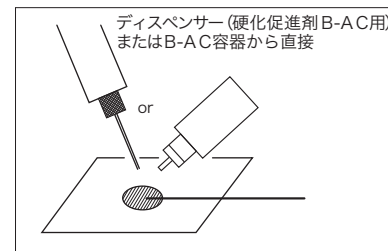
④面への塗布



⑤-1 面と面の接着



⑤-2 面と線の接着



ARI 厚木中央研究所株式会社

〒243-0303
 神奈川県愛甲郡愛川町中津 4076 番地
 日本ロジステック(株)内
 TEL 046 (286) 3016